

2023年1月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+22.5	立 川 店	+68.9
堺 店	+3.6	大 宮 店	+8.6
京 都 店 ※	+15.7	柏 店 ※	+6.3
泉 北 店	+3.3	(株)高島屋各店計	+17.2
日 本 橋 店	+12.4	岡 山 高 島 屋	+3.9
横 浜 店 ※	+15.0	岐 阜 高 島 屋	+1.6
新 宿 店	+30.4	高 崎 高 島 屋	+4.1
玉 川 店	+9.2	(株)高島屋各店 および 国内百貨店子会社計	+16.3

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※ 京都店は「洛西店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高をそれぞれ含みます。

■ 概況

○1月度の店頭売上は、前年度のまん延防止等重点措置の反動に加え、高額品やインバウンドの売上が

引き続き好調だったことにより、前年実績を上回りました。

店頭売上	前年比	+16.3%	2019年度(2020年1月)比	△0.2%
免税売上	前年比	+249.9%	2019年度(2020年1月)比	△24.6%
免税を除いた店頭売上	前年比	+11.8%	2019年度(2020年1月)比	+1.8%

○店舗別売上では、全店が前年実績を上回りました。なお、立川店(百貨店区画)は、営業終了に伴うセール開催により、大きく伸長しました。

○商品別売上(当社分類による15店舗ベース)では、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、呉服、子供情報ホビー、スポーツ、リビング、美術、食料品、食堂が前年実績を上回りました。